

|           |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
|-----------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------|--|---------------|--|---------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|--|------|--|
| 事業所名      |                 | CDK                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |       |  | 支援プログラム（参考様式） |  | 作成日     |  | 2025 年                                                                                                               |  | 1 月 |  | 27 日 |  |
| 法人（事業所）理念 |                 | 「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。                                                                                                                                                                                                                           |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
| 支援方針      |                 | 私たちは「その子」をしっかりと見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。                                                                                                                                                          |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
| 営業時間      |                 | 9 時                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 0 分から |  | 18 時          |  | 0 分まで   |  | 送迎実施の有無                                                                                                              |  | あり  |  | なし   |  |
|           |                 | 支 援 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
| 本人支援      | 健康・生活           | ・ こどもの身体に関するアセスメントを把握し、活動中の表情や様子の変化などに気を付けながら、支援をします。<br>・ 基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方）に慣れるようサポートします。<br>・ 動作カードなどの視覚物を適宜活用しながら、事業所内外での安全な過ごし方について理解を促します。                                                                                                                         |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
|           | 運動・感覚           | ・ 自身で選択が出来、発想を豊かにものや道具に触れる活動を提供します。日常的に生かせるはさみ・のり・箸・スプーン等の道具に触れ、手先の運動と共に、使い方や危険性なども認識できるようルールへの提示も行います。<br>・ こどもの感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感に訴える活動やお子様の感覚刺激を満たすような活動を行います。<br>・ 微細運動や粗大運動を通して、体の使い方が向上するよう支援します。<br>・ こどもの姿勢保持を補助するツールを使いながら、正しい姿勢を意識することや正しい姿勢で活動する時間が増えるようサポートします。                    |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
|           | 認知・行動           | ・ こどもの発達段階を見極め、身近な日常生活の振り返りをしながら、状況把握や判断が身につくよう支援します。<br>・ こどもの認知の特性について、手先を使った教材を通して認知の偏りなど理解を深めながら、適切な対応に結び付けられるよう支援します。<br>・ 感覚を十分働かせながら、物の扱い方や仕組みなど理解を促していけるよう支援します。                                                                                                                       |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ・ クラゼミの職員（大人）との関わりの中で他者と円滑なコミュニケーションを学べるよう支援します。大人との関りから同世代とのやり取りへとつなげ、気持ちを言葉や体で表出し、自身の気持ちをコントロールできるよう支援していきます。<br>・ こどもの発達に合わせ、手遊びやゲームなどを通して言葉の理解や表出が豊かになるよう支援します。<br>・ こどもの発達に合わせて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。<br>・ 場や状況に応じた適切なコミュニケーションをするために、その場の状況がイメージできる絵カードを使用するなど、場や状況に応じた会話ができるように支援します。 |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
|           | 人間関係<br>社会性     | ・ 大人とのコミュニケーションを通して、自身の苦手なことや初めての事に対しても挑戦する気持ちを持ち、「成功体験」や「失敗体験」の双方を経験して、自信へと変わるよう支援します。抵抗があることも誰かと一緒に取り組むことで、また1つ経験が増えるよう活動の提示を行います。<br>・ 指導員や仲間と遊びやゲームを通して順番やルール、約束を守る、物を大切に扱うことなど、社会性を育てていきます。<br>・ 職員と良好な関係性を根底に、他児や集団の中で円滑な関係性を作っていけるよう支援します。                                              |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |
| 家族支援      |                 | 事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。発達のプロとしての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を観察または参加いただいた上で、特性や、特性を踏まえた関わり方お子様の関わり方等に関して相談援助を行います。                                                                                                            |  |       |  |               |  | 移行支援    |  | 登園する園や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。<br>関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。 |  |     |  |      |  |
| 地域支援・地域連携 |                 | 地域の方からの信頼を得られるように支援の質を向上させるように努力します。<br>連携会議を定期的で開催し、情報収集・役割分担について協議します。<br>各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。                                                                                                                                                          |  |       |  |               |  | 職員の質の向上 |  | 法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。<br>療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。                                                      |  |     |  |      |  |
| 主な行事等     |                 | 季節に応じた不定期イベントの開催。（6月フェスタジュニーナ（ブラジル収穫祭）、10月東三河校舎合同運動会、12月クリスマス会、2月節分集会）<br>保護者への子育てに関する情報提供や交流会を目的としたママカフェ会の実施。                                                                                                                                                                                 |  |       |  |               |  |         |  |                                                                                                                      |  |     |  |      |  |